

1. 活動報告

I) 業績 (14年8,9月)

<原著論文>

Yokoi, T. & M. Watanabe" Sharing of overnight site with *Amegilla florea urens* and *Notocrypta curvifascia* in Iriomote Island. "*中国昆虫* in press (2014)**Yokoi, T.**, M. Watanabe" Female-biased sleeping aggregations of *Amegilla florea urens* (Hymenoptera: Apidae)"*Entomological Science.* in press (2014)Nakagawa Y, Satoh A, Yabe S, Furusawa M, Tokushige N, Tezuka H, Mikami M, Iwata W, Shingyouchi A, **Matsuzaka T.**, Kiwata S, Fujimoto Y, Shimizu H, Danno H, Yamamoto T, Ishii K, Karasawa T, Takeuchi Y, Iwasaki H, Shimada M, Kawakami Y, Urayama O, Sone H, Takekoshi K, Kobayashi K, Yatoh S, Takahashi A, Yahagi N, Suzuki H, Yamada N, Shimano H.

"Hepatic CREB3L3 Controls Whole-Body Energy Homeostasis and Improves Obesity and Diabetes."

Endocrinology. 2014 Sep 18;en20141113 (2014)Ushijima Y, **Ohniwa RL.**, Maruyama A, Saito S, Tanaka Y and Morikawa K." Nucleoid compaction by MrgA^{Asp56Ala.Glu60Ala} does not contribute to staphylococcal cell survival against oxidative stress and phagocytic killing by macrophage."*FEMS Microbiol Lett* doi: 10.1111/1574-6968.12598 (2014)**Neves, M. A.**, Hashemi, J., Prentice, C

" Development of novel bioactives delivery systems by micro/nanotechnology."

Current Opinion in Food Science. Accepted (September 5, 2014). DOI 10.1016/j.cofs.2014.09.002

<総説等>

大庭良介

『表層常在細菌叢と病原体』

環境と微生物の事典 朝倉書店, p252-253 (2014)

大庭良介

『酸化ストレス耐性』

環境と微生物の事典 朝倉書店, p260 (2014)

<学会発表・招待講演>

K.KAWADA. K.SUZUKI, H.SUGANUMA, A.SMAOUI, H.ISODA

2nd International Conference on Arid Lands Studies

演題: 『Protective effects of vegetation in Chambli National Park in Tunisia』 (ポスター発表)

日時: 2014年9月11日

場所: Samarkand State University, Samarkand, Uzbekistan

K.OGUMA, K.TAMURA, T.KAMIJO, **K.KAWADA.** U. JAMSRA

2nd International Conference on Arid Lands Studies

演題: 『Characteristics of soil under the forest steppe in Mongolia』 (ポスター発表)

日時: 2014年9月11日

場所: Samarkand State University, Samarkand, Uzbekistan

Yuji Yamashita. Takumi Saito

17th Meeting of the International Humic Substances Society

演題: 『Size distribution of humic substances evaluated with flow field-flow fractionation and its size-dependent cation binding』 (口頭発表)

日時: 2014年9月1日

場所: Ioannina, Greece

Yuji Yamashita

Tsukuba Global Science Week 2014

演題: 『Colloidal properties of humic substances』 (口頭発表)

日時: 2014年9月28日

場所: Tsukuba, Japan

川口敦史

第11回 ウイルス学キャンプ in 湯河原

演題: 『宿主因子によって制御されるインフルエンザウイルスゲノムの細胞内動態』 <招待講演>

日時: 2014年9月17日

場所: ニューウェルシティ湯河原 (静岡県熱海市)

有元貴文・Khrueniam U.・Manajit N.・吉川尚・**今孝悦**・岡本祐樹・石川智士

平成26年度日本水産学会秋季大会

演題: 『平均栄養段階によるタイ国定置網のインパクト評価 - Selective fishing vs. Balanced harvesting』 (口頭発表)

日時: 2014年9月20日

場所: 九州大学 (福岡)

Khrueniam U., Arimoto T., Yoshikawa T., **Kon K.**, Okamoto Y., Yap M., Ishikawa S., Phuttharaksa K., Munprasit R., and Arnupapboon S.
The 2014 autumn meeting of the Japanese Society of Fisheries Science. 20th
演題: 『Enrichment factor examination with stable isotope analysis for trophic level of set-net catch in Rayong, Thailand.』
(ポスター発表)
日時: September 2014.
場所: Kyusyu, Japan.

戸祭森彦・**今孝悦**
2014年度日本プランクトン学会・日本ベントス学会合同大会
演題: 『種組成はイボニシの餌選好性に影響を与え得るか』
(口頭発表)
日時: 2014年9月5日
場所: 広島大学(広島)

遠藤大介・荒川洋二・**池端慶**・大鹿淳也・新村太郎・森 康
日本鉱物科学会 2014 年年会
演題: 『伊豆弧、新島火山より産する2種類のハンレイ岩質捕獲岩の成因: 岩石学的・地球化学的考察』(口頭発表)
日時: 2014年9月19日
場所: 熊本大学

Scott Carnahan
Workshop on Mathieu Moonshine
演題: 『Introduction to Mathieu Moonshine』<招待講演>
日時: 2014年8月25日
場所: 東京大学玉原国際セミナーハウス

Fujino, S.
Geological Society of Japan and Geological Society of London Joint Symposium “Tsunami hazards and risks: using the geological record” in 2014 annual meeting of The Geological Society of Japan
演題: 『Recurrence intervals of tsunamis associated with earthquakes at the Nankai Trough may vary over time and place』(口頭発表)
日時: 2014年9月13日~15日
場所: Kagoshima

千葉崇・**藤野滋弘**・小堀詠美
日本地質学会第121年学術大会
演題: 『徳島県田井ノ浜における珪藻化石群集の変遷と完新世後期の地殻変動』(ポスター発表)
日時: 2014年9月13日
場所: 鹿児島大学

Takashi Matsuzaka, Yuta Nakano, Zhao Hui, Marii Suzuki, Tang Nie, Yoshimi Nakagawa, Naoya Yahagi, Nobuhiro Yamada, Hitoshi Shimano
9th Metabolic Syndrome, Type 2 Diabetes and Atherosclerosis Congress
演題: 『Deletion of Elovl6 ameliorates hyperglycemia in db/db mice.』
(ポスター発表)
日時: 2014年9月13日
場所: Kyoto International Conference Center

山口 陽子, 程 殷杰, **川崎真弘**, 北城 圭一
第37回日本神経科学学会大会
演題: 『2者行動同期の位相振動子モデルを用いた解析』
(口頭発表)
日時: 2014年9月12日
場所: 横浜

源川拓磨, 畑中美帆, 竹島実加, 塚本亜未, トファエル アハメド, 野口良造, 瀧川具弘
日本食品工学会第15回(2014年度)年次大会
演題: 『近赤外分光法によるイチゴ嫌気呼吸の迅速検出』
(ポスター発表)
日時: 2014年8月7日~9日
場所: つくば国際会議場(つくば)

川原悠, **源川拓磨**, トファエルアハメド, 野口良造, 瀧川具弘
日本食品工学会第15回(2014年度)年次大会
演題: 『中赤外・近赤外分光法による豆乳の粘度変化プロセスの特性把握』(ポスター発表)
日時: 2014年8月7日~9日
場所: つくば国際会議場(つくば)

源川拓磨, 畑中美帆, ガルグパンカジ, トファエルアハメド, 野口良造, 瀧川具弘
2014年度日本冷凍空調学会年次大会
演題: 『蓄冷材“Ice Battery”[®]を使ったイチゴの低温貯蔵』
(口頭発表)
日時: 2014年9月10日~13日
場所: 佐賀大学(佐賀)

谷口智之, 高達良典, 新村麻実
水文水資源学会発表会
演題: 『水田地域からの排水温度の変化構造』(ポスター発表)
日時: 2014年9月25日~27日
場所: 宮崎

Tomovuki TANIGUCHI
Round Table Discussion in JST/JICA Water-saving Agricultural Technology (WAT) Project
演題: 『Water and salt balance in the Gharbiya drain basin.』(口頭発表)
日時: 2014年9月3日~4日
場所: Cairo, Egypt.

石賀康博・Srinivasa Rao Uppalapati・Shipra Mittal・Kirankumar S Mysore
平成26年度日本植物病理学会関東部会
演題: 『統合オミックス解析に基づくタルウマゴヤシ非宿主抵抗性の解明』(口頭発表)
日時: 2014年9月12日
場所: 宇都宮大学

牧下 彩乃, 小林 功, **Neves, M. A.**, 蘆原 昌司, 植村 邦彦, 中嶋光敏
第7回 日中韓大学院生フォーラム
演題: 『異なる乳化機により処理された大豆油の酸化安定性評価』
(口頭発表)(英語)
日時: 2014年9月26日~29日
場所: 中国地質大学

神津 博幸, 小林 功, 王 政, 中嶋 光敏, **Neves, M. A.**, 植村 邦彦, 佐藤 誠吾, 市川 創作
第66回日本生物工学会大会
演題: 『胃ぜん動運動に誘起される食品エマルションゲルからの油滴放出挙動の解析』(口頭発表)(要旨集 3P-080)
日時: 2014年9月11日
場所: 札幌コンベンションセンター, 札幌

小林 功, 堀 祐子, **Neves, M. A.**, 植村 邦彦, 中嶋 光敏
化学工学会第46回秋季大会 九州大学

演題：『プリミックスナノチャネル乳化を用いたサブミクロン O/W エマルションの作製特性』（口頭発表）（要旨集 D204）
日時：2014年9月18日
場所：伊都キャンパス、福岡市

Khalid, N., 小林 功, 王政, Neves, M. A., 植村 邦彦, 中嶋 光敏, 鍋谷 浩

化学工学会第46回秋季大会 九州大学

演題：『ビタミンDを内包したサブミクロン水中油滴型（O/W）エマルションの作成及び特性評価』（口頭発表）（英語）（要旨集 D205）

日時：2014年9月18日
場所：伊都キャンパス、福岡市

神津 博幸, 小林 功, Neves, M. A., 中嶋 光敏, 植村 邦彦, 佐藤 誠吾, 市川 創作

化学工学会第46回秋季大会 九州大学

演題：『胃消化シミュレーターを利用したO/Wエマルションゲルの物理的消化挙動の解析』（口頭発表）（要旨集 D208）

日時：2014年9月18日
場所：伊都キャンパス、福岡市

水田大輝・米川和範・松本安広・末木啓介・坂本健一・小野木亮・比企 弘・大宮秀昭・酒井一雄・松岡瑞樹・伊藤 睦・瀬古澤由彦・福田直也

園芸学会平成26年度秋季大会

演題：『筑波大学農林技術センターの露地およびハウス圃場から採取した土壌中ならびに各園芸作物中の放射能モニタリング』（ポスター発表）

日時：2014年9月27日～28日
場所：佐賀大学（佐賀市）

上野真義・水田大輝・大澤 良

第126回日本育種学会（平成26年度 秋季大会）

演題：『サクラソウの花器官に由来するトランスクリプトームの解析』（ポスター発表）

日時：2014年9月26日～27日
場所：南九州大学（都城市、宮崎県）

2. スケジュール

<14年10月>

2日（木） 11:30～
テニユアトラック普及・定着事業推進委員会及び定例会
総合研究棟D 115会議室

2日（木） 定例会終了後
審査・アドバイザー委員会
総合研究棟D 115会議室

6日（月）
総合科目 第1回
講義題目『ガイダンス』
講義担当者：谷口智之（生命環境系）

17日（金）（振替授業日）
総合科目 第2回
講義題目『火山の噴火と災害』
講義担当者：池端慶（生命環境系）

20日（月）
総合科目 第3回
講義題目『地質、地形から分かる過去の地震』
講義担当者：藤野滋弘（生命環境系）

25日（土）～ 26日（日）
筑波キャンパス電気設備点検（全学停電）

27日（月）
総合科目 第4回
講義題目『自然災害と感染症』
講義担当者：大庭良介（生命環境系）

3. 事務連絡

○ 人事

10月1日より、若手研究者運営調整部会部会長・副部会長・書記が下記の通りとなりました。

部会長：横井智之
副部会長：石賀康博
書記：新里高行（兼務 副部会長）、山下祐司

4. 若手イニシアティブレポート

文部科学省科学技術振興調整費「若手研究者の自立的な研究環境整備促進」次代を担う若手大学人育成イニシアティブ（平成19年度～平成23年度）プログラムを経験した「若手イニシアティブ教員」の現在の活動状況レポートです。

■受賞

三浦謙治
植物細胞分子生物学会 奨励賞
「低温シグナル伝達機構の分子生物学的研究」
（平成26年6月）

■学会発表・招待講演

丹羽隆介
京都大学理学部特別セミナー
演題：『Sex, Sperm, and Steroid: 交尾刺激と生殖幹細胞をつなぐシヨウジョウバエの神経・内分泌機構』<招待講演>
日時：2014年9月26日
場所：京都大学理学部

Ryusuke Niwa

The 12th International Symposium on Cytochrome P450 Biodiversity and Biotechnology

演題:『Transcriptional regulation of a specific steroidogenic P450 gene in the fruit fly *Drosophila melanogaster*』 <招待講演>

日時: 2014年9月25日

場所: 京都市国際交流会館

丹羽隆介、天久朝恒

日本動物学会第85回仙台大会

演題:『昆虫“脱皮”ホルモンの脱皮・変態後における役割: 交尾刺激と生殖幹細胞』 <招待講演>

日時: 2014年9月12日

場所: 東北大学川内北キャンパス

丹羽隆介

弘前大学農学生命科学部第6回研究推進セミナー

演題:『コレステロール動態調節を介した昆虫ステロイドホルモン合成の制御機構 ~新規酵素 Noppera-bo の同定とその創薬ターゲットとしての可能性』 <招待講演>

日時: 2014年9月9日

場所: 弘前大学農学生命科学部

Rvusuke Niwa

サマースクール2014: 生命現象における時間と空間を制御する仕組み

演題:『How to regulate developmental timing in insects』 <招待講演>

日時: 2014年8月27日

場所: 岡崎統合バイオサイエンスセンター

丹羽隆介

GEヘルスケア・ジャパン主催 はじめてのライフサイエンス基礎講座2014

演題:『ゲノム編集時代の生命科学~生化学と遺伝学を併用した研究アプローチ~』 <招待講演>

日時: 2014年7月18日

場所: つくば研究支援センター

テニユアトラック普及・定着事業 *News Letter* vol.33

[平成26年10月号]

編集・発行: 若手研究者運営調整部会

*当ニュース・レターは、毎月1回第1木曜日に配信いたします。

連絡先: テニユアトラック支援室